

事務事業評価（平成27年度に実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H27 事業概要	H27 事業実績	H27決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H27 目標	H27 実績	H28 目標	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合 判定	判定理由	事業の 方向性		
																									必要	有効
65	新居支所	新居支所	02	01	19		木曾町児童交流事業	文化交流親善友好都市として、本市と木曾町との交流の一環として児童交流を実施する。	新居小5年生が木曾町を訪問（スキー交流） 木曾町内小学5年生が新居町を訪問（海の交流） 木曾町の提案で、27年度から夏季交流の時期（8月→6月）と対象学年（6年→5年）が変更となった。 ※いずれも1泊2日	木曾町へ（新居小5年生スキー交流129人、木曾町内小学5年生90人） 木曾町から（木曾町内小学生5年生88人、新居小5年生129人）	1,454	木曾町内小学生の延べ参加人数	人	160	178	180	B	A	B	A	B	B	双方とも、交流を機に地元の歴史を認識する効果があり、また、地元ではできない貴重な体験学習の場となっている。	継続		
588	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	01		社会教育委員会の開催	社会教育法第15条第の規定により湖西市社会教育委員をおく。社会教育に関する計画の立案や調査研究、社会教育に関して教育委員会に助言をする。	社会教育委員会の開催、社会教育研修への参加により社会教育の推進を図る。	委員9名、任期2年、年間4回開催した。 社会教育関係事業の内容検討を行った。	355	社会教育委員会開催回数	回	4	4	4	A	A	A	A	A	A	法的に決められているため必要。	継続		
589	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	01		社会教育指導員設置事業	社会教育の推進を図る	社会教育指導員を設置し、社会教育の推進を図る	指導委員4名、家庭教育推進、相談業務を行った。	4,816	社会教育指導員の設置数	人	5	5	5	A	A	A	A	A	A	教育一般に関して豊かな職見を有し、社会教育に関する指導技術を身につけている者が、社会教育事業をすることにより、社会教育の振興を図ることができる。	継続		
600	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	02	★	おちばの里親水公園管理事業	自然体験、親子ふれあい、仲間との交流を提供することにより、人づくり・仲間作りを推進する。	自然豊かな「おちばの里親水公園」を生徒学習の場として維持管理する。	知波田地区に平成16年11月に開園した「おちばの里親水公園」の公園内の清掃及び除草・ごみの処理・トイレの清掃を行った。 利用申請受付数 5,038人	1,548	公園利用者数(申請分)	人	4,500	5038	4600	A	A	A	A	A	A	A	生涯学習の場とし、管理していく必要がある	継続	
603	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	02	★	放課後子ども教室推進事業	学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちを健やかに育てるために、社会全体の教育力の向上を図る。	放課後に学校の教室を利用し、地域の参画を得て子どもたちに学習・スポーツ・文化活動・体験活動の場を提供し、安心安全な放課後教室を開催する。	放課後子どもプラン推進事業運営委員会において、放課後子ども教室の計画と運営について協議し、市内6校の小中学校で実施した。	2,501	放課後子ども教室申込者数	人	240	207	230	C	A	A	A	A	A	A	国の施策であり、放課後の子どもたちの居場所作りや学校・家庭・地域との連携を図るためには必要	継続	
604	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	02		学校支援本部事業	未来を担う子どもたちを健やかに育てるために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む。	地域住民がボランティアとして学校活動を支援する学校支援地域本部を設置し、地域全体で教育に取り組む。	児童及び生徒の健やかな成長と地域の教育力の向上を図るために、白須賀小学校、白須賀中学校、知波田小学校に支援本部を設置し学校支援を図った。	1,516	支援本部設置数	校	3	3	3	A	A	A	A	A	A	A	学校・家庭・地域との連携を図っていくためには必要。	継続	
613	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	04	★	青少年健全育成事業	青少年の健全育成を目指す	青少年の健全育成のため、 ・青少年問題協議会の開催 ・健全育成大会の開催 ・健全育成大会の開催 ・育成表彰の実施 ・「家庭の日」の普及 ・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援 ・明るく地域づくりと青少年健全育成活動を実践する明湖会への補助	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会の開催 委員22名、任期2年、年間1回青少年センター運営委員会と同時開催した。 ・健全育成大会の開催 健全育成表彰、小中高生による「少年の主張」、「家族の詩」の朗読等を実施した。 ・参加者 560人 ・健全育成表彰の実施 個人2人、16団体の表彰を行った。 ・「家庭の日」の普及 応募数 絵画 323点、標語 125点、詩 372点 入賞作品を展示・公開した。優秀作品を掲載した啓発物を作成し、配布し、啓発を図った。 ・子ども会連合会、湖西少年少女発明クラブ、ボイスカウト湖西協議会、湖西フロンティア倶楽部の活動に対し補助をした。 ・明湖会の活動に対し補助をした。 	5,238	「家庭の日」作品応募数(総数)	点	1,000	820	1,000	A	A	A	A	A	A	A	A	青少年の健全育成を図るためには必要。	継続
618	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	02	★	青少年教育推進事業	体験イベントを通して学習の大切さや自然のしくみ、人と人とのふれあいを深めることにより、青少年の社会性と道徳心を育成する。	子どもたちの体験や親子、子ども間の交流を通して青少年の健全育成を図るため、青少年の科学体験、親子体験教室、おちばの里とうげ祭り、子どもフェスタ等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の科学体験事業 青少年に科学体験を通じて、物づくりの楽しさ、創意工夫の大切さを学ぶ機会を提供した。 11ブース設置 730人参加 ・おちばの里とうげ祭り 大知波峰寺跡周辺をメイン会場に自然と文化財及び参加者同士のふれあいイベント 参加者 62人 ・親子体験教室 自然と親しみながら親子のふれあいを深めるため、「浜名湖を知ろう」「森を知ろう」などを4回実施した。 参加者 52組 164人 ・子どもフェスタ アネティプラザのメインアリーナで、ドッチボール、新居吹奏楽団道によるアトラクションを行い、地域・世代を超えた交流を深めた。 参加者 735人 	1,506	イベント参加者数	人	2,000	1,691	2,000	A	A	A	A	A	A	A	A	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るためには必要。	継続
621	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	04	★	青少年育成センター活動事業	街頭補導活動、相談活動を行うことにより、青少年非行を防止する。	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動、青少年環境の浄化など関係機関と連絡調整を図り、青少年健全育成活動を行う。	街頭補導活動では、青少年補導員46人を委嘱し、青少年の非行防止のため市内各地区ごとで街頭補導を実施した。 延べ542人参加 ヤングライフこさい（相談窓口）を市民会館・西部公民館に開設し、青少年の電話相談を行った。	1,088	補導実施回数	回	140	114	140	A	A	A	A	A	A	A	青少年非行を防止のため、街頭補導活動が重要になるため必要	継続	